



椎の木

令和6年10月1日発行 10月号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41

TEL:048-465-8381 FAX:048-467-4739

児童数：1,137名

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～



運動発表会 → 運動会

校長 田中 誠

残暑と呼ぶことがどうなのかと思うほど、強烈に暑い日が続いた9月。お彼岸を過ぎてようやく暑さも少し和らげられました。暦の上ではとうに立秋を過ぎていますが、ようやく秋を実感として感じられるようになってきました。

さて、今月12日には第49回運動会を予定しています。コロナ禍においては『運動発表会』として徒競走・表現をご覧いただきました。5類に引き下げられた昨年度は、「全校種目」を復活させ徒競走と共に得点を付け、6色対抗の『運動会』として開催しました。ただし、低・中・高学年のブロック制での開催であったため、全校で互いの演技を見あったり、競技を応援したりすることはできませんでした。

今年度は、他学年の演技を見ること、応援することも運動会の醍醐味の1つですので、全児童が一堂に会しての実施とすることにしました。種目については、昨年度同様、「徒競走」「表現」「全校種目」となります。保護者の皆様には全ての演技・競技をご覧いただき、八小の子供たちが頑張る姿にご声援をお願いしたいところですが、昨年度同様、入れ替え制をとらせていただきます。なお、全校児童が校庭にいますので、昨年度より参観のためのスペースが狭くなるのが予想されます。加えて参観人数に制限を求めていますので、「譲り合って参観すること」「保護者証を着用すること」等にご協力くださいますよう、お願いいたします。（詳細は配付済み「運動会について」をご確認ください）



ところで、運動会の演技など集団で何かに取り組む際には、「みんなで」ということを意識させます。同じ方向を向き、よりよい方向に向かって力を結集して進んで行くにはとても有効に働く「集団の力」となります。しかし、一歩誤るとこの力は特定の人を孤立させたり、同じ方向に強いて向かせようとする力となったり、逆に隠れ蓑のように個の存在を消す方向に働いてしまったりすることがあります。この、孤立させたり同じ方向に強いて向かせたりすること（「同調圧力」と言われます）は、いじめにつながるものでもあります。「みんなが言っているから」「行動しているから仕方ない」として、自分の考えを変えてしまうような圧力です。アメリカの社会心理学者 ソロモン・E・アッシュ が実験により、相手が3人以上であると圧力を受けやすくなることを明らかにしました。また、何らかの権威や専門性なども影響を与えるそうです。

孔子が言う「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」（「論語」）という言葉に肝に銘じて生活したいものです。そして、学級という集団を、高め合い、助け合う機能が十分働くように、また安心して活動できる居心地のよい場所となるように、今後とも取り組んでまいります。



<9/26 音楽朝会：5年生発表>